



保全地の水路に幼虫を放流する児童

## 西根ホタル保全地で幼虫放流

宇都宮市立  
富屋小学校

宇都宮市立富屋小学校の2、3年生は20日、富屋西部ホタル愛護会の協力で、西根ホタル保全地で幼虫放流会をした。

2009年にホタルの放流を始めてから今年で9年目。同小では総合的な学習の一環で飼育し、地域の自然環境と人々の暮らしを学んでいる。放流会を前に3年生は、同小で学習発表会をした。ホタルの飼育などを通して学んだ1年間の記録を振り返って、一人一人が感想を話し、イラ

ストパネルを使って飼育について解説した。

ホタル放流会には2、3年生90人と教職員、同会員らに参加。ゲンジボタル300匹にヘイケボタル20匹と、児童たちが飼育した47匹も加えられた。児童は4人ずつに分かれ、紙コップに入った幼虫に「元気に育ってね」と言いながら静かに水路に放した。入江利会長は「ホタルの飼育は、農村環境の保全などを学べる貴重な体験。6月の観賞会で会いましょう」と児童に笑顔で話した。

(うつのみや)